

令和4年度『総合的な探究の時間』全体計画 及び 令和4年度入学生における 『総合的な探究の時間』全体計画（普通科）（案）

<名称>

SDGs（持続可能な開発目標（ESD（持続可能な社会のための教育）含む））

<本校の教育目標>

教育基本法に則り、個人の尊厳と人権を尊重し、校訓「自主・協同・研学」をふまえ、人間性豊かな生徒を育てるとともに、日本及び国際社会の一員としての自覚に立ち、創造性に富むたくましい人間の育成をめざす。

<本校の探究課題>

「持続可能な開発目標(SDGs)」(「持続可能な開発のための教育 (ESD)」含む)に係わる国際社会、日本及び地域の諸問題を知り、その解決に向けての方策を探究する。

<総合的な探究の時間の目標>

「持続可能な開発目標(SDGs)」(「持続可能な開発のための教育 (ESD)」含む)について基礎的な知識を深め、何が問題で何が必要か、またできることは何かについて国際的な視野から考察を進め、課題研究を行う。

探求の見方・考え方を働かせ、「持続可能な開発目標(SDGs)」(「持続可能な開発のための教育 (ESD)」含む)に係わる国際社会、日本及び地域の諸問題を知り、その解決に向けての方策を探求する学習を通して、以下の資質・能力を育成する。

(1)知識及び技能

書物、テレビや新聞、インターネットなど様々な媒体から必要な情報を読み取り、世界の情勢や社会の変化を知る情報収集能力を身につける。SDGs及びESDについて基礎的な知識を深め、パソコンやタブレットのソフトウェアを活用して課題研究の結果をわかりやすくまとめる技能を身に付けるようにする。

(2)思考力、判断力、表現力等

収集した情報を元に、現在の社会の問題点をとらえ、その解決に向けて考える思考力を身につける。また、アンケート、インタビュー、実験等の実施によって自らの力で解明し、結果に基づいて行動しようとする実践力を身につける。収集した情報から考察を深めて、批判的な思考力や対立する意見をまとめ新たな考えを創造する力を育てる。さらに、収集した情報をまとめ発表し、導き出された自分の考えや提案をわかりやすく伝える表現力を育てる。

(3)学びに向かう力、人間性等

様々な視点から考察し、横断的・総合的に学習を行うことで、能動的に課題を発見し、解決しようとするための資質・能力を育成する。さらに、自己の在り方生き方を考えながら世界の情勢や社会の変化を見据えて、世界や地域で活躍しようとする姿勢を身に付けるようにする。

学年 (年次)	目標を実現するにふさわしい探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質や能力		
		知識・技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
1	SDGs「持続可能な開発目標（ESD（「持続可能な開発のための教育）」含む）に係わる国際社会、日本及び地域の諸問題を解決するための方策。	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs(ESD)の基礎知識を得る。 ・ディベートの手法を知り、SDGsに関連するディベートを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs (ESD) について、自らの問題として考える。 ・ディベートの手法で論理的に考え、議論を展開する 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己理解・他者理解 ・探究を通して、自己を見つめ、自分の個性や特徴に向き合っている。 ・異なる多様な意見を受け入れ尊重している。 ○主体性・協働性 ・自分の興味や進路と関連づけて、真摯に課題に向き合い取り組んでいる。 ・自他の良さを認め特徴を生かしながら、協働して取り組もうとする。 ○将来展望・社会参画 ・探究を通して、自己の進路を将来社会の理想実現と関連付けて考えている。 ・持続可能な社会の実現を果たすために社会の形成者としての自覚を持つことができる。
2	SDGs「持続可能な開発目標（ESD（「持続可能な開発のための教育）」含む）に係わる国際社会、日本及び地域の諸問題を解決するための方策。	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs (ESD) について知識を深め、何が問題で何が必要か、またできることは何かについて知る（有限性、多様性、相互性、協働性等）。 	<ul style="list-style-type: none"> ①課題設定 ・進路と関連づけて適切に課題を設定する。 ・仮説を立て、検証方法を考え、計画立案する。 ②情報収集 ・書物・インターネット等の他、アンケート、インタビュー、観察・実験など実証的なデータを集める。 ③整理・分析 ・情報を整理し、深い分析・確かな根拠付けを行う。 ④まとめ・表現 ・論理的にわかりやすくまとめ、ポスター発表する。 	

学 習 活 動	指導方法	学習の評価
≪第1学年：知る≫ ・自分と世界との関係, 及び SDGs・ESD に関して基礎的な内容を知る。 ・課題研究テーマを考え, 基礎知識を得るために個別調べ学習を行う。	講演会(出前講義), 学年やクラスでの指導。 夏季休業中の課題として与える。	・個別学習のレポート
・ディベート学習(SDGs・ESDに係わるもの)。	ディベートの手法を説明し, クラス全体, 又はグループで調べ, 準備させる。資料の作成, ディベートチャンピオンシップ(予選・決勝)の手順や方法を指導する。	・発表会 ・相互評価 ・個人内評価
・課題研究の準備・計画を行う(2年次の課題研究実施のために)	テーマの検討・グループ分け。テキストを使用し, 課題研究の進め方や方法の指導。書物やインターネット活用法の指導。	・ポートフォリオの活用 ・個別学習のレポート
≪第2学年：探究する≫ ・SDGs・ESD に関する内容で, 自分の進路とも関連させてテーマを設定し, 分野に分かれて調べ考える(課題研究の実施)。	新聞記事や書物, インターネットさらにアンケートやインタビューを実施して, より実証的なグループ研究とし, 調べたことを論理的にわかりやすく発表できるよう指導する。	・発表会 ・相互評価 ・個人内評価
≪第3学年：まとめ, 考える≫ ・進路との関連を重視したテーマ別探究活動を行う。 ・SDGs・ESD に関して, 調べ考えたことを個人論文としてまとめる(課題研究のまとめ)。 ・課題研究を通して社会の在り方, 自分の在り方を考える。 ・課題研究の成果を展示発表する。	課題研究をまとめる中で, 自分のやるべきことを考え, 話し合いながら探究学習を進めるよう指導。 作文, 小論文指導及び面接指導を適宜行う。	・個別小論文 ・個別学習のレポート
<指導体制> 企画課の基本方針のもと, 各学年に総合的な探究の時間の担当者をおき, 学年主任とも協議の上, 全体計画を基に詳細な計画を立てる。実施は学年全体や, クラス, 講座毎など活動内容によって柔軟性を持たせて行う。 <地域や大学との連携> 大学教員や外部講師による講演・出前講義や指導, 外部講師による論文の書き方の講習及び留学生との交流など。		

<p>目 標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「持続可能な開発目標（SDGs）」、「持続可能な開発のための教育(ESD)」に関連する分野のうち、特に経済・産業・環境に関連して興味・関心進路希望に応じた講座の選択を行い、自ら課題を選び、その課題解決を図る学習を通して、商業に関する専門的な知識や技術を深める。 ・問題解決能力、自主性や創造性、コミュニケーション能力を養うとともに、自分の将来を主体的に設計する能力を育成する。
<p>学 習 活 動 の 内 容 等</p>	<p>◎情報処理分野の学習 世界及び地域経済に関連するデータについて、表計算ソフトウェアを活用して、情報を分析し活用することについて学習し、情報活用能力を養い、ビジネスの実践力を育てる。また、各自がテーマを選定し、マルチメディア機器を利用してプレゼンテーションを行う。学習成果の確認として、全商情報処理検定1級を受験する。</p> <p>◎簿記会計分野の学習 世界及び地域経済の動き、さらに実務に対応した会計処理の基礎的・基本的な知識と技術について学習する。この学習により、財務諸表から得られる情報をビジネスの諸活動に活用する能力と取り組む態度を育てる。学習成果の確認として、上級簿記検定を受検する。</p> <p>◎商業デザイン分野の学習 「持続可能な開発目標(SDGs)」、「持続可能な開発のための教育(ESD)」に関連させて、各種デザイン、POP広告、ロゴマークなどのビジュアル・コミュニケーションデザインに関する学習を行う。高校生産業教育交流展への出品作品を作成する。作品作りや交流展への出品を通して、表現力や他者に伝える力を磨き、豊かな企画力や創造性を育てる。</p>